



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1721		
科目名	日本語 I		
担当教員	ワトソン 有		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	木 5		
講義室	国際交流センター	単位区分	必,選必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	語学		
科目の位置付け (開発能力)	<p>能力) ■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP1-D〔市民的素養と市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観、動機を動員することができる。</p> <p>DP2-A〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕地球的視点で物事を多面的に捉え、日本の精神文化を理解し異文化との交流の重要性を認識することができる。</p> <p>DP4-I〔表現力・分析力〕文章表現を扱いつつ、情報の収集と取舍選択、分析を円滑に粉うることができる。</p> <p>DP6-K〔表現力・対話力、ライティングコミュニケーション、オーラルコミュニケーション〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連</p> <p>A1 文化的自己意識、文化的多様性への理解 (10%)</p> <p>A2 異文化適応、言語的コミュニケーション (10%)</p> <p>D1 文化的素養、知識の獲得、市民参加のためのコミュニケーション、市民的行動と省察と参加 (40%)</p> <p>I1 内容理解、文理構造の分析、解釈、読者の声 (15%)</p> <p>I2 表現、コミュニケーション (5%)</p> <p>K1 ライティング・コミュニケーション、目的及び文脈の理解、構成、内容の展開 (10%)</p> <p>K2 オーラル・コミュニケーション、内容の構造化、言葉選び、話しの運び (10%)</p>		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進期～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	<p>日本語の基本的な技能を養うことが狙いです。このクラスが修了するときには、ひらがな・カタカナを読めるようにすることが目標です。</p> <p>(キーワード) 聞く、話す、読む、書く、基礎コミュニケーション</p> <p>※授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。</p>		
授業の趣旨	<p>■副題 大学での学習や日常生活を行うための日本語の基礎知識を学びます。</p> <p>■授業の目的</p> <p>①初級レベルの日本語能力を高めるために、学んだ日本語を使って、日本人学生と交流したり、日常生活に必要な基本的なコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>②日常生活や大学生活での基本的なコミュニケーション能力を高めるために、聞く・話す・読む・書くの4つの技能について何度も繰り返しながら修得する。</p> <p>■授業のポイント</p>		

	外国語はインプット・アウトプットを何度も繰り返すことがとても大事です。毎日予習・復習を行うことで日常生活や大学生活での基本的なコミュニケーションが出来るようにします。								
総合到達目標	<p>■グローバルパーソンとしてコミュニケーションできる能力を高めるために、日本語の基礎知識を習得する。また、文章及び口頭で自らの考えを的確に表現し、日常生活に必要な基本的なコミュニケーション能力を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひらがな・カタカナを完全に読み書きすることができる。(第2回～3回) ・基本的な発音体系が理解でき、正確に発音することができる。(第2回～14回) ・日本語の基本的な構造、時制の表現方法、文章の連結方法を理解し、正確に使うことができる。(第2回～14回) ・挨拶、自己紹介、食事の注文、買い物、道の尋ね方、交通機関の利用、電話等、日常生活で必要とする簡単な表現ができる。(第2回～14回) 								
成績評価方法	<p>■授業理解確認課題2回(20%):適用ルーブリック A1・A2・D1 (評価の観点)当該単元の授業理解度を評価します。 (フィードバック方法)授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。</p> <p>■中間総括・到達度確認・リアクションペーパー講評(30%):適用ルーブリック K1・K2 (評価の観点)日本語授業内容の理解度を評価します。 (フィードバック方法)授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。</p> <p>■授業総括・到達度確認・レポート講評1回(50%):適用ルーブリック K1・K2 (評価の観点)日常生活で必要とする簡単な表現が日本語でコミュニケーションできるかを評価します。 (フィードバック方法)授業時間中、あるいはポータルにて解説・講評を行います。</p>								
履修条件	日本語学習経験無し/ほぼ無しの外国人留学生								
履修上の注意点	文法の暗記や文字を見てわかるだけではコミュニケーションができません。授業で学んだことをインプット・アウトプットを何度も繰り返しながら、授業外でも積極的に使ってみましょう。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> <p>①授業テーマ ガイダンス、あいさつ、ひらがな読み</p> <p>②授業概要 本授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する。また簡単なあいさつの言葉を覚える(A1、A2、D1)。五十音表でひらがなのシステムを確認し、読む練習をする。</p> <p>③予習(60分) シラバスを読む。</p> <p>④復習(60分) 『日本語I』に関する授業の内容、目的、到達目標を確認する。また、授業で学んだあいさつの言葉を復習する。五十音表でひらがなを読む。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。</p> </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <p>①授業テーマ Unit1-1 自己紹介 ひらがな書き</p> <p>②授業概要 自己紹介に必要な言葉(国名、学部)を学び、練習する。数字(1～0)の数を練習する(A1、A2、D1)。 ひらがな書きの練習をし、書き方練習シートを記入、フィードバックを受ける。</p> <p>③予習(60分) テキストに目を通す。ひらがなを書く。</p> <p>④復習(60分) 授業で学んだ表現や数字を復習する。ひらがなの読み書きを練習シートで復習する。</p> </td> </tr> <tr> <td>3</td> <td> <p>①授業テーマ Unit1-3 自己紹介 カタカナ読み</p> <p>②授業概要 ひらがなで本文のディクテーションをし、フィードバックを受ける。数字(11～100)までの練習をする。カタカナ読みの練習をする(A1、A2、D1)。</p> <p>③予習(60分) テキストに目を通す。カタカナを書く。</p> <p>④復習(60分) ひらがなのフィードバックを参考に復習する。カタカナの読みと数字を復習する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>①授業テーマ ガイダンス、あいさつ、ひらがな読み</p> <p>②授業概要 本授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する。また簡単なあいさつの言葉を覚える(A1、A2、D1)。五十音表でひらがなのシステムを確認し、読む練習をする。</p> <p>③予習(60分) シラバスを読む。</p> <p>④復習(60分) 『日本語I』に関する授業の内容、目的、到達目標を確認する。また、授業で学んだあいさつの言葉を復習する。五十音表でひらがなを読む。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。</p>	2	<p>①授業テーマ Unit1-1 自己紹介 ひらがな書き</p> <p>②授業概要 自己紹介に必要な言葉(国名、学部)を学び、練習する。数字(1～0)の数を練習する(A1、A2、D1)。 ひらがな書きの練習をし、書き方練習シートを記入、フィードバックを受ける。</p> <p>③予習(60分) テキストに目を通す。ひらがなを書く。</p> <p>④復習(60分) 授業で学んだ表現や数字を復習する。ひらがなの読み書きを練習シートで復習する。</p>	3	<p>①授業テーマ Unit1-3 自己紹介 カタカナ読み</p> <p>②授業概要 ひらがなで本文のディクテーションをし、フィードバックを受ける。数字(11～100)までの練習をする。カタカナ読みの練習をする(A1、A2、D1)。</p> <p>③予習(60分) テキストに目を通す。カタカナを書く。</p> <p>④復習(60分) ひらがなのフィードバックを参考に復習する。カタカナの読みと数字を復習する。</p>
回	内容								
1	<p>①授業テーマ ガイダンス、あいさつ、ひらがな読み</p> <p>②授業概要 本授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する。また簡単なあいさつの言葉を覚える(A1、A2、D1)。五十音表でひらがなのシステムを確認し、読む練習をする。</p> <p>③予習(60分) シラバスを読む。</p> <p>④復習(60分) 『日本語I』に関する授業の内容、目的、到達目標を確認する。また、授業で学んだあいさつの言葉を復習する。五十音表でひらがなを読む。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。</p>								
2	<p>①授業テーマ Unit1-1 自己紹介 ひらがな書き</p> <p>②授業概要 自己紹介に必要な言葉(国名、学部)を学び、練習する。数字(1～0)の数を練習する(A1、A2、D1)。 ひらがな書きの練習をし、書き方練習シートを記入、フィードバックを受ける。</p> <p>③予習(60分) テキストに目を通す。ひらがなを書く。</p> <p>④復習(60分) 授業で学んだ表現や数字を復習する。ひらがなの読み書きを練習シートで復習する。</p>								
3	<p>①授業テーマ Unit1-3 自己紹介 カタカナ読み</p> <p>②授業概要 ひらがなで本文のディクテーションをし、フィードバックを受ける。数字(11～100)までの練習をする。カタカナ読みの練習をする(A1、A2、D1)。</p> <p>③予習(60分) テキストに目を通す。カタカナを書く。</p> <p>④復習(60分) ひらがなのフィードバックを参考に復習する。カタカナの読みと数字を復習する。</p>								

4	<p>①授業テーマ Unit1-5 自己紹介 ひらがな、カタカナ復習</p> <p>②授業概要 クラスで自己紹介ができるようにする。また他者の自己紹介を聞き、他己紹介の練習をする(A1、A2、K2)。 ひらがな、かたかな、数字のクイズを行い、フィードバックする。文法練習シート1で表現を復習する。</p> <p>③予習 (60分) テキストに目を通す。自己紹介の内容を考える。</p> <p>④復習 (60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。</p>
5	<p>①授業テーマ Unit2-2 家族の紹介</p> <p>②授業概要 テキスト本文を読み、意味を確認し、音読の練習をする(D1、I1、I2、K2)。人の数え方、年齢表現を学び、使えるように練習する(A1、A2、D1)。 書き方練習シート2で語彙とひらがなの復習をし、フィードバックを受ける。</p> <p>③予習 (60分) テキストに目を通し、音読をする。</p> <p>④復習 (60分) 本文の音読、授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、書き方シートを復習する。</p>
6	<p>①授業テーマ Unit2-4 家族の紹介</p> <p>②授業概要 学んだ語彙、表現を用いて自分の家族の紹介文を書く。フィードバックを受けて修正し、音読により発表する練習を行う。質問に答えられるようにする(A1、A2、K1、K2)。 他者の発表を聞いて、質問する練習をする。</p> <p>③予習 (60分) テキストに目を通し、家族の紹介内容を準備する。</p> <p>④復習 (60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。</p>
7	<p>①授業テーマ Unit3-2 好きな物、好きなこと</p> <p>②授業概要 目的語＋他動詞(食べる、飲む、見る、聞く、する)の文型を使えるようにする。テキスト本文を読んで意味を確認し、音読の練習をする(D1、I1、I2、K2)。 書き方練習シート3に記入し、フィードバックを受ける。</p> <p>③予習 (60分) テキストに目を通し、音読をする。</p> <p>④復習 (60分) テキストの音読をする。授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。</p>
8	<p>①授業テーマ Unit3-4 好きな物、好きなこと 作文</p> <p>②授業概要 本文を参考に、自分の好きな食べ物、好きなスポーツ、音楽について作文を書き、発表する練習をする。学習者どうしで質疑応答する練習をする(A1、A2、K1、K2)。</p> <p>③予習 (60分) テキストに目を通し、作文の内容を準備する。</p> <p>④復習 (60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。</p>
9	<p>①授業テーマ リアクションペーパーのフィードバック 漢字ガイダンスⅡ</p> <p>②授業概要 理解確認のリアクションペーパーを参考に、理解が不十分な箇所を復習する。 漢字の部首の基本となる漢字を学び、部首のシステムを説明を受ける。基本漢字を書く練習をする。</p> <p>③予習 (60分) これまでのテキストに目を通し、授業内容を確認する。</p>

	<p>④復習 (60分) フィードバックを参考にこれまでの学習内容を復習する。授業で書いた漢字を復習する。</p>
10	<p>①授業テーマ Unit4-2 一日の過ごし方</p> <p>②授業概要 テキスト本文を読み、意味を確認し、音読する練習を行う(D1、I1、I2、K2)。書き方シート4で漢字を練習し、フィードバックを受ける。</p> <p>③予習 (60分) テキストに目を通し、音読をする。</p> <p>④復習 (60分) テキスト本文の音読。練習シートの漢字を復習する。</p>
11	<p>①授業テーマ Unit4-4 一日の過ごし方</p> <p>②授業概要 本文を参考に、自分の1日の過ごし方について作文をかき、発表する。質問を受けて答える練習をする。他者の発表を聞き、質問できるようにする(A1、A2、K1、K2)。</p> <p>③予習 (60分) テキストに目を通し、作文の内容を準備する。</p> <p>④復習 (60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。</p>
12	<p>①授業テーマ Unit5-2 いつもの夕食と先週末の食事</p> <p>②授業概要 テキスト本文を読み、意味を確認して音読の練習をする(D1、I1、I2、K2)。曜日と日にちを覚えて使えるようにする(A1、A2、D1)。 書き方シートで漢字の練習をし、フィードバックを受ける。</p> <p>③予習 (60分) テキストに目を通し、音読をする。</p> <p>④復習 (60分) テキストの音読をする。授業で学んだ表現と漢字の復習をする。</p>
13	<p>①授業テーマ Unit5-4 いつもの夕食と先週末の食事</p> <p>②授業概要 テキスト本文を参考に、前日の食事や外食の経験について作文をかき、発表する。質問を受けて答える練習をする。他者の発表を聞き、質問できるようにする(A1、A2、K1、K2)。</p> <p>③予習 (60分) テキストに目を通し、作文の準備をする。</p> <p>④復習 (60分) 授業で学んだ表現・文型を使えるように練習をし、理解が不十分な箇所を復習する。</p>
14	<p>①授業テーマ Unit6-2 外出</p> <p>②授業概要 テキスト本文を読み、意味を確認し、音読の練習をする。内容についての質疑応答の練習をする(D1、I1、I2、K2)。 学習者同士で外出の経験について質問し合う練習をする。文法練習シート6を記入し、フィードバックを受ける。</p> <p>③予習 (60分) テキストに目を通し、音読をする。</p> <p>④復習 (60分) テキストの音読をする。練習シートを参考に授業で学んだ表現の復習をする。</p>
15	<p>①授業テーマ これまでの学習内容についての理解度を確認する。</p> <p>②授業概要 総復習としてリアクションペーパーを書き、理解度を確認する。 総復習として、これまでの学習を踏まえ、自分についての作文を書く。フィードバックを受けて修正する(A1、A2、K2)。</p> <p>③予習 (60分) テキスト等に目を通し、これまでの授業内容を確認する。</p> <p>④復習 (60分) 修正した作文を繰り返し音読し、スピーチの練習をする。</p>

関連科目	日本語Ⅱ (RMGT/SSCS1722)
教科書	「NE」テーマで学ぶ基礎日本語」VOL.1 くろしお出版 「一人で学べる ひらがな かたかな」スリーエーネットワーク 「BASIC KANJI BOOK 基本漢字500」VOL.1
参考書・参考URL	『みんなの日本語初級Ⅰ』（本冊）第2版 スリーエーネットワーク 『みんなの日本語初級Ⅰ 翻訳・文法解説』第2版 スリーエーネットワーク 『みんなの日本語初級Ⅰ 書いて覚える文型練習帳』第2版 スリーエーネットワーク
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に指示します。 ■オフィスアワー 時間外にアポイントメントを希望する方は、メールで事前に連絡をしてください。
研究比率	

